

やはた コミセンだより 令和6年4月号

発行日 令和6年4月10日
 発行元 八幡コミュニティセンター
 電話 83-2619 (fax 兼)
 コミセン 070-1159-4367
 E-mail yahata-cc@town.aizubange.fukushima.jp

令和6年度より、八幡コミュニティセンター長が舟木健治さんに変更となります（地域づくり協議会長は、令和6年度の総会で承認されてから兼務となります）。今後とも変わらずご理解とご協力の方、よろしくお願いします。

関本 良前センター長は、5年9か月、コロナ禍の中でも八幡地区の地域づくりのために、ご尽力いただきました。大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

～令和6年度 八幡地区区長会のご紹介～ ～坂下南小 PTA（八幡地区）よりお知らせ～

＜令和6年度 区長会組織＞

行政区	区長氏名	備考
塔 寺	戸内 敏博	会 長
塔寺二区	仮名 浩	
気多宮	平野 道雄	
新 館	飯塚 佳仁	
杉	佐藤 栄一	会 計
船 窪	鈴木 真吾	
大 沢	藤田 雅也	副会長
和 泉	大竹 秀明	
朝 立	小野 貴幸	
平 井	山内 孝夫	

新区長の皆さま、よろしくお願いします。情報を共有しながら、ともに良い地域づくりをしていきましょう！前区長の皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

八幡地区の資源回収を下記の日程で、実施します。行政区ごとに、その小学生および保護者で回収していますが、小学生のいない地区または、別途回収の地区は収集しませんので、ご了承ください。

記

●実施日 4月21日（日）
 午前8時～午前9時

●回収物
 ビ ン 類…ビール瓶、茶色の一升瓶
 アル ミ 缶…水でゆすいでください
 スチール缶…水でゆすいでください
 新 聞 紙…広告チラシはいれないでください
 雑 誌 類…CD などがあれば抜いてください
 段 ボ ー ル…金具ははずしてください

●回収対象外の地区
 和泉区、船窪区

～八幡地区フォトコンテスト2023～

テーマ『「みんなに知ってほしい八幡の魅力」～ザル菊畑や四季折々のいこいの森の風景、各地域の魅力～』と題して、四季折々の八幡地区の魅力発信のため実施しました。22 作品の応募があり、全ての作品はコミセンの玄関入口スペースに展示されております。また、令和5年度の「八幡地区つるし雛でひなまつり」のテーマである「塔寺山いこいの森」に関連する作品は、会場に展示しました。入賞は以下のとおりです。

最優秀賞	「朝霧」	野村 和広さん（塔寺区）
優 秀 賞	「新緑のいこいの森展望台から見る風景」	佐藤 信雄さん（塔寺区）
優 秀 賞	「かみのやまつつみと只見線」	牧野 保治さん（塔寺区）
優 秀 賞	「ハイジのブランコ」	菅 敬浩さん（御池田区）
特 別 賞	「春の桜と春紅葉」	小林しづ子さん（塔寺二区）
特 別 賞	「秋の立木観音（恵隆寺）」	千年原博人さん（喜多方市）

※授賞式は、4月17日の地域づくり協議会総会前に行います。
 ※作品は、今後中央公民館の町民ギャラリーに展示を予定しています。

～八幡コミセンからのお知らせ～

4月から、八幡ふれあいサロンを毎月第4水曜日で開催しますので、ぜひお越しください。
 4月は24日にもものづくりをします。その他、10日と17日に健康マージャンをおこないます。
 お問い合わせ・申込みは、八幡コミセンまでお電話ください。

～前センター長のごあいさつ～

平成30年7月1日から、5年9か月間、センター長（地域づくり協議会長）として務めてきましたが、3月末をもって退任することになりました。

私の願いは、「これまでの八幡地区の代表的な事業や地区のよさを活かし、地区の活性化につないでいきたい。」ということでした。長いコロナ禍の中で思うように進まない大変厳しい状況でしたが、皆さまのおかげで、何とか自分なりの役目を果たせたのではないかと思います。皆さま方のご協力・ご支援に改めて心より感謝申し上げます。今後は、一会員として地域づくり協議会に協力していきたいと思います。

終わりに、今後のコミュニティセンターおよび地域づくり協議会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、退任のごあいさつといたします。大変お世話になりました。ありがとうございました。



～新センター長のごあいさつ～

4月からセンター長を委嘱されました新館区の舟木健治です。

関本前センター長におかれましては、5年9か月の長い間、コロナ禍の厳しい期間を乗り越えられ、数々の成果をあげられました。

特に、「八幡地区つるし雛でひなまつり」においては、積極的な渉外活動を展開し、文化事業団からの補助金の獲得や、「JR 東日本駅長オススメの小さな旅」「会津ばんげまち歩き」での案内誘導など、その行動力に頭の下がる思いです。大変お疲れさまでした。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

さて、東日本大震災を経験したとはいえ、各地で災害が起きる度、私たちはどう行動すべきかを考えさせられます。地域コミュニティが希薄になってきている時代、住民の安心安全な生活をどう担保していくのか、答えを探していきたいと思います。

